

MÉMOIRES 2021

フェブラリーステークス

第38回フェブラリーステークス(GI)優勝馬カフェファラオ



若き新ダート王の誕生

並みいる古豪を一蹴し、4歳馬カフェファラオが新ダート王者となった。

2021年最初のJRA・G Iであるフェブラリーステークスは、実績馬がずらりと顔を揃える好メンバーの一戦となった。

2020年のマイルチャンピオンシップ南部杯の覇者アルクトス。根岸ステークスを鮮やかに差し切ってきたレッドルゼル。2020年フェブラリーステークス3着、武蔵野ステークス2勝と、この舞台を得意としているサンライズノヴァ。2020年夏に本格化して勢いに乗っているソリストサンダー。3連勝で東海ステークスを制したオーヴェルニュ。そんな年長馬たちを差し置いて1番人気に推されたのは、メンバー中、唯一の4歳馬であるカフェファラオだった。

ここまで重賞はG IIIのユニコーンステークスとシリウスステークスを制しているカフェファラオだったが、前走のチャンピオンズカップは2番人気と期待されながら6着。中団やや後方から直線で伸びを欠く走りでもレースを終えていた。

しかしこの日は違った。クリストフルメール騎手は「前走は馬体があまり良くなかったし、レースでも全然反応しませんでした。今回は体が違ったし、返し馬でも一生懸命でした」とレース前からその変化を察知。

ワイドファラオとエアアルマスが引っ張る流れは緩みのない、厳しいものとなったが「絶対にいいポジションで乗りたかった」と、あくまで強気に3番手で追走する。

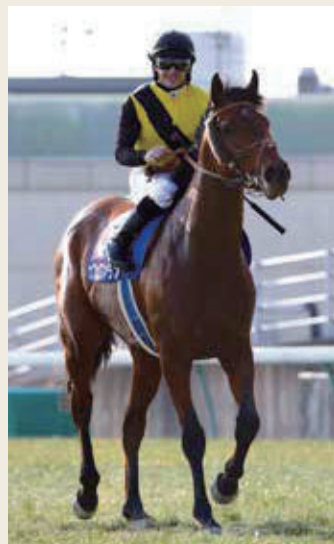
直線に向いても手応えは抜群。ルメール騎手のムチに反応したカフェファラオは残り200mで先頭に立つと、追いつがるエアスピネル、ワンダーリーデルの8歳馬2頭を余裕十分に退け、初のビッグタイトルを獲得。ルメール騎手は2020年のモズアスコットに続くフェブラリーステークス連覇となった。

勝ちタイムの1分34秒4はレース歴代2位、良馬場で施行された年では最速という優秀なもの。父に37年ぶりの米国三冠馬アメリカンファラオを持つフレッシュな怪物外国産馬が、その底知れない能力で日本の砂の頂点に立ってみせた。



▲カフェファラオ(帽色・黒・右)は好位3番手から直線に向かう。

▶1番人気に応え初のビッグタイトルを手にしたカフェファラオ。



第38回フェブラリーステークス(GI)

2/21 東京競馬場 1600m(ダート・左) 晴・良 16頭

着順	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	調教師	タイム/差	人気	通過順位
1	カフェファラオ	牡	4	57	C.ルメール	堀 宣行	1:34.4	①	③③
2	エアスピネル	牡	8	57	鮫島 駿	笹田 和秀	3/4	⑨	⑩⑨
3	ワンダーリーデル	牡	8	57	横山 典弘	安田 翔伍	1 3/4	⑧	⑦④
4	レッドルゼル	牡	5	57	川田 将雅	安田 隆行	1/2	③	⑩⑪
5	エアアルマス	牡	6	57	松山 弘平	池添 学	1 1/4	⑩	②②
6	インティ	牡	7	57	武 豊	野中 賢二	クビ	⑦	⑬⑬
7	ミューチャリー	牡	5	57	御神本剛史	矢野 義幸	1 1/4	⑬	⑮⑮
8	ソリストサンダー	牡	6	57	北村 宏司	高柳 大輔	クビ	⑤	⑫⑪
9	アルクトス	牡	6	57	田辺 裕信	栗田 徹	1 1/4	②	⑤④
10	ヤマニンアンプリメ	牝	7	55	横山 武史	長谷川浩大	クビ	⑭	⑦⑧
11	サンライズノヴァ	牡	7	57	松若 風馬	音無 秀孝	3/4	④	⑮⑮
12	スマートダンディー	牡	7	57	秋山真一郎	石橋 守	2	⑩	⑨⑨
13	オーヴェルニュ	牡	5	57	丸山 元気	西村 真幸	3	⑥	⑤④
14	ワイドファラオ	牡	5	57	福永 祐一	角居 勝彦	1	⑪	⑪⑪
15	サクセスエナジー	牡	7	57	酒井 学	北出 成人	2 1/2	⑮	⑬⑬
16	ヘリオス	騾	5	57	M.デム一口	寺島 良	4	⑫	③④

単勝 ③330円 複勝 ③180円 ⑩510円 ⑦400円 枠連(2-5) 980円
馬連 ③-⑩6,620円 馬単 ③-⑩9,300円 ワイド ③-⑩2,130円 ③-⑦1,560円 ⑦-⑩3,620円
3連複 ③-⑦-⑩24,940円 3連単 ③-⑩-⑦101,710円

ハロンタイム 12.5-10.8-11.4-11.8-12.0-11.9-11.9-12.1
通過タイム 600m ③34.7-800m ④46.5-1000m ⑤58.5-1200m ⑥1:10.4-1400m ⑦1:22.3

優勝馬 カフェファラオ

2017.3.3生 父American Pharoah 母Mary's Follies 母の父More Than Ready
米・Paul P. Pompa生産 馬主:西川光一氏